

経営比較分析表（令和5年度決算）

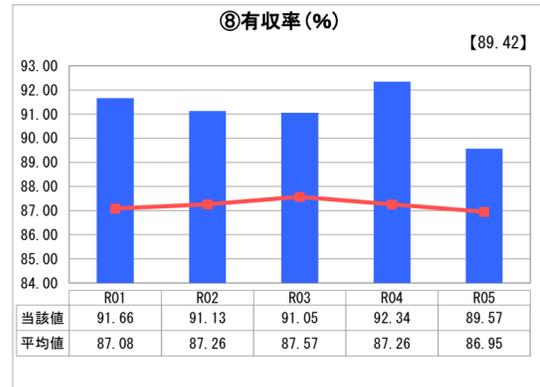
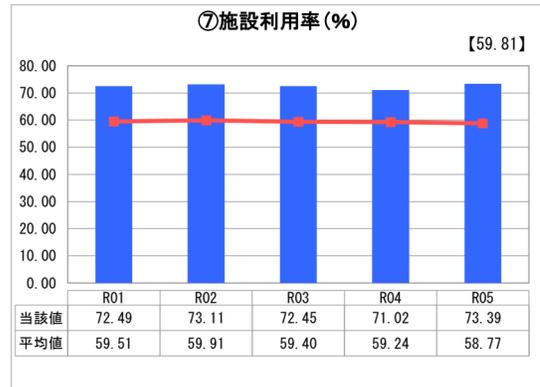
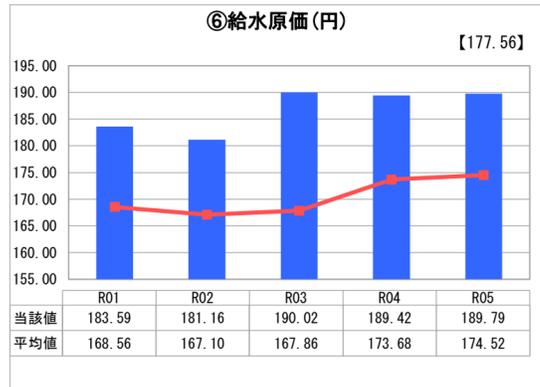
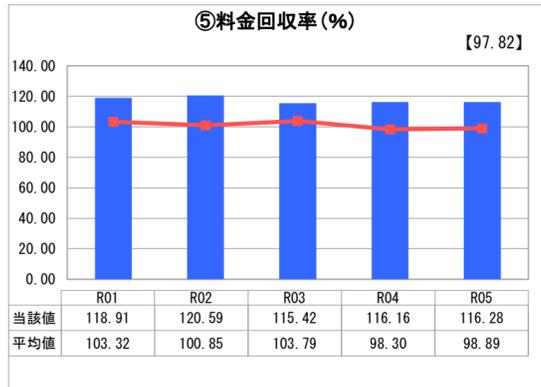
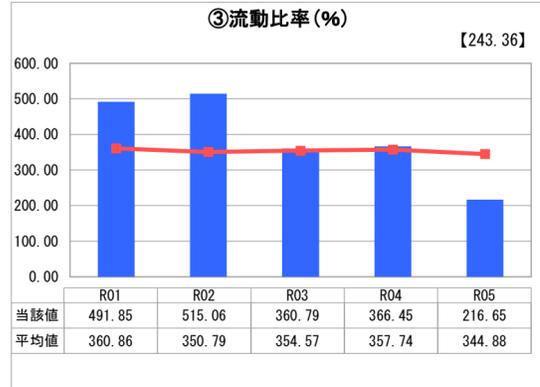
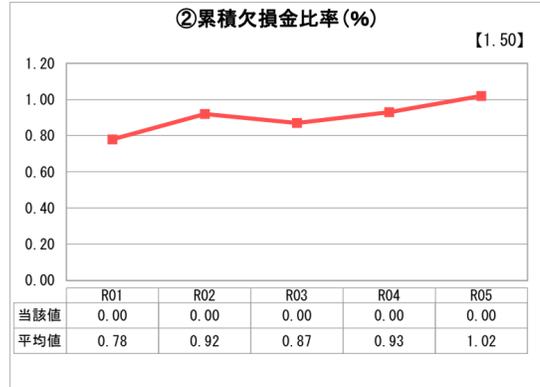
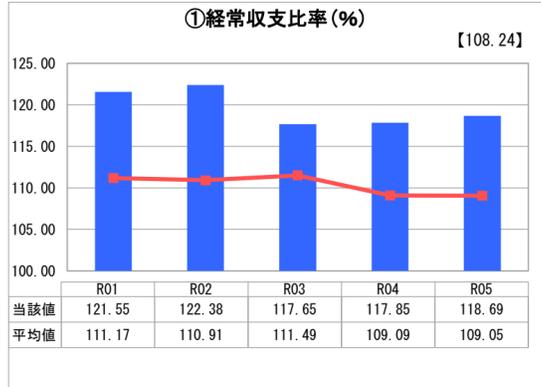
山形県 天童市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	82.29	99.45	4,070	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,627	113.02	536.43
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
60,067	106.54	563.80

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市水道事業では、経常収支比率(①)及び料金回収率(⑤)が100%を超えており、給水にかかる費用が給水収益によって適切に賄えている状況にある。令和4年度から比率も増加し、全国平均や類似団体と比較しても適切な値となっている。今後も健全な経営のため、適切な更新投資に向けた財源の確保を行う。

短期債務に対する支払い能力を表す流動比率(③)は令和4年度に比べ減少したものの、100%を上回っている。しかし、全国平均や類似団体と比較すると大きく下回ってしまったため、今後は支払い能力を考慮した経営を行っていく必要がある。

企業債残高対給水収益比率(④)は、給水収益の維持と企業債の計画的な償還により、類似団体より低い値を維持している。今後は、企業債の新規借入も活用し、大規模修繕に備えるとともに必要な更新投資を行っていく。

給水原価(⑥)は年間給水量の全量を広域水道から受水している等の理由から、類似団体と比較して高くなっており、当年度は経常費用の増加により値が増加した。

施設利用率(⑦)や有収率(⑧)は全国平均や類似団体よりも高い値を維持し続けている。今後も、高い水準の維持を目指し、計画的な管路・設備の更新と適切な維持管理を実施していく。

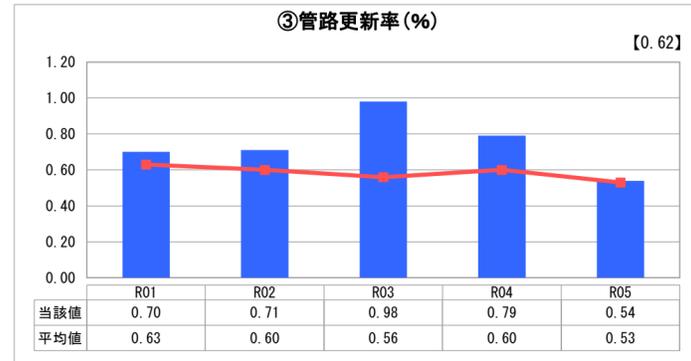
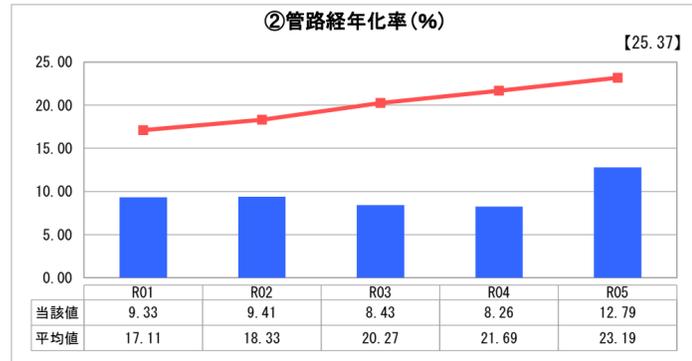
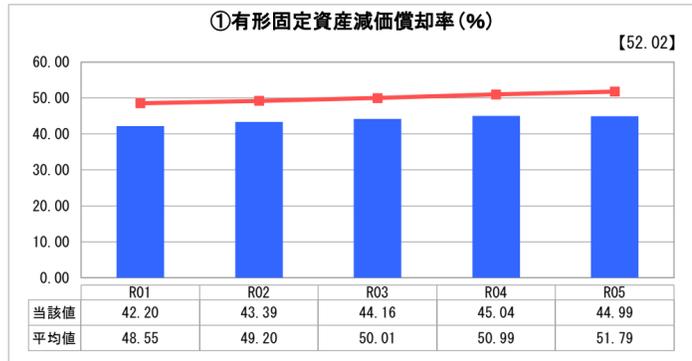
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率(①)は、償却資産における減価償却済みの部分の割合を示すもので、毎年度上昇傾向にあるが、当年度は前年度に比べて0.05ポイント減少した。老朽化の度合いは全国平均や類似団体よりも低いが、上昇傾向にあり、今後も老朽管や施設の更新を計画的に行っていく予定である。

法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す管路経年比率(②)についても、全国平均や類似団体よりも低い水準であるが、当年度は前年度よりも上昇した。

当年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率(③)は、当年度は比率は下がったが、全国平均や類似団体と同程度の値となった。今後も、平均して1%の更新率を目標として、更新計画に基づいた投資を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率(①)、料金回収率(⑤)等が比較的高いことから、現状は給水収益を主とした適切な経営状況である。しかしながら、今後は、給水収益の増加を見込むことができない状況で管路の更新投資と適切な維持管理を実施する必要があるため、更なる経費の削減等を行い、高い有収率を維持しつつ継続的な経営を行う。